

公益社団法人 読書推進運動協議会

2023年度 事業報告書・決算報告書 2024年度 事業計画書・予算書

1・趣意書	P. 3
2・2023年度 事業報告書	P. 4 ~ P. 14
3・2023年度 決算報告書	P. 15 ~ P. 24
① 貸借対照表	P. 15
② 正味財産増減計算書	P. 16 ・ P. 17
③ 正味財産増減計算書内訳表	P. 18 ・ P. 19
④ 財務諸表に対する注記	P. 20 ・ P. 21
⑤ 附属明細書	P. 22
⑥ 財産目録	P. 23
⑦ 監査報告書	P. 24
4・2023年度 予算決算対比	P. 25
5・2024年度 事業計画書	P. 26 ~ P. 29
6・2024年度 収支予算書	P. 30
7・会員名簿	P. 31 ・ P. 32

公益社団法人 読書推進運動協議会 趣意書

読書推進運動協議会は、読書活動の推進と、出版物の普及により、わが国文化の発展と向上に資することを目的として、1947年(昭和22年)秋を第1回とする「読書週間」の主催団体であった読書週間実行委員会を発展的に解消して、出版界および読書界の代表的7団体により、1959年(昭和34年)11月10日任意団体として結成、発足しました。

以来、国民的行事として定着してきた、秋の「読書週間」、春の「こどもの読書週間」の2大行事を主催すると同時に、「若い人に贈る読書のすすめ」「敬老の日読書のすすめ」「野間読書推進賞」など、年間を通じて国民一般に読書と愛書の意欲を昂揚し、あわせて出版についての理解と関心を深めるために、各種の事業ならびに運動を計画し、その中核となって活発なる活動をつづけ、今日に至っています。

現在の読書推進運動協議会は、組織としては出版界ならびに読書界の代表的団体、すなわち、一般社団法人 日本書籍出版協会、一般社団法人 日本雑誌協会、一般社団法人 教科書協会、一般社団法人 日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会、公益社団法人 日本図書館協会、公益社団法人 全国学校図書館協議会の7つの団体のほか、出版および読書に関連する諸団体ならびに会員社によって構成され、強力なる支援のもとに発展をつづけています。さらに、連携組織としての各地域の読書推進運動協議会も、40の道府県に設立され、活動をしています。

このように組織体としての基盤も確立し、1969年(昭和44年)秋には文部省(現在の文部科学省)より社団法人の認可を、2013年(平成25年)4月には内閣府より公益社団法人の認定を受けました。責任ある公共団体としての覚悟を新たにして、本来の目的達成のために、いっそう強力なる活動の展開を期してまいります。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル6階
公益社団法人 読書推進運動協議会
電話 (03) 5244-5270 FAX (03) 5244-5271

2023年度 事業報告書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

事業 総括

読書推進運動協議会は、永年にわたる活動の公益性が高く評価され、2013年4月1日に公益社団法人へと移行しました。

2023年度は行動制限がなくなり、催事などが再開された年でした。関連諸団体および関係者各位のご協力により、①第65回こどもの読書週間 ②2023 敬老の日読書のすすめ ③第77回読書週間 ④2024 若い人に贈る読書のすすめ ⑤第53回野間読書推進賞 ⑥機関紙『読書推進運動』の毎月発行（別冊・年2回）の各事業 ⑦「子どもの読書推進会議」の事務局担当 ⑧伊藤忠記念財団の「子ども文庫助成事業」の募集および第一次審査業務の受託 ⑨行政機関を含めた各種団体の読書推進活動に関する支援と後援を行うことができました。

2023・第65回 こどもの読書週間



期 間	4月23日から5月12日まで(20日間)
主 催	公益社団法人 読書推進運動協議会
後 援	文部科学省、日本新聞協会、NHK、日本民間放送連盟、 日本PTA全国協議会、全国市町村教育委員会連合会
標 語	ひらいてとじた 笑顔がふえた (小学館・熊谷友希さん)
ポスター	絵：ザ・キャビンカンパニーさん

- 道府県読書推進運動協議会、公共図書館、上記後援団体のほか、出版、新聞、放送の主要機関に「こどもの読書週間」開催の趣旨書とマークと協力依頼書を送付、協力を要請
- 標語の決定と、ポスターの製作・配布。B3判4色刷りポスター5万500枚を製作し、道府県の読書推進運動協議会、全国の公共図書館、小・中・高校、書店、出版社、新聞社、放送局、文化団体などに配布、掲出を要請
- 道府県読書推進運動協議会に、「こどもの読書週間」行事補助金、各2万円を贈呈

ポスター配布先	●道府県読書推進運動協議会・公共図書館 7500枚
	●全国小・中・高校 3万枚
	●取次各社 6030枚
	●特定の機関 2970枚
	●読書推進運動協議会事務局(会員社を含む) 4000枚

道府県の各読書推進運動協議会が実施した行事

公益社団法人読書推進運動協議会の呼びかけによって、全国各地で多彩な行事が実施された。その行事報告は機関紙『読書推進運動』2023年10月刊・第671号別冊付録に収録

●道府県別各読書推進運動協議会報告の行事主催者数(読書推進運動協議会編)

北海道	147	青森県	24	岩手県	52	宮城県	38	秋田県	52
山形県	26	福島県	23	茨城県	52	栃木県	45	群馬県	26
埼玉県	107	千葉県	78	新潟県	36	富山県	33	石川県	28
福井県	25	山梨県	43	長野県	41	岐阜県	43	静岡県	95
滋賀県	35	京都府	42	兵庫県	78	和歌山県	24	鳥取県	31
島根県	32	岡山県	58	広島県	73	徳島県	19	香川県	27
愛媛県	37	高知県	25	福岡県	97	佐賀県	28	長崎県	49
熊本県	47	大分県	27	宮崎県	39	鹿児島県	87	沖縄県	28
								合 計	1897

2023・第77回 読書週間



期 間	10月27日から11月9日まで (文化の日を中心とした14日間)
主 催	公益社団法人 読書推進運動協議会
後 援	文部科学省
標 語	私のペースでしおりは進む (トーハン・藤村伸子さん)
ポスター	イラスト=鈴木初奈さん デザイン=間中幸子さん(クウ)

- 道府県読書推進運動協議会、公共図書館をはじめ、出版、新聞、放送の主要機関に「読書週間」開催の趣旨書、マークならびに協力依頼書を送付、協力を依頼
- 標語の決定と、ポスターの製作・配布。B3判4色刷りポスター5万5500枚を製作し、道府県の読書推進運動協議会、全国の公共図書館、小・中・高校、書店、出版社、新聞社、放送局、文化団体などに配布、掲出を依頼
- 日本雑誌協会の協力を得て、同協会の会員社に対し、発行の雑誌への「読書週間」告知広告掲載を依頼。積極的な取り組みを要請。15社62誌に掲載
- 道府県読書推進運動協議会から各1件の推薦により、「全国優良読書グループ表彰」を行い、36団体に賞状・副賞(2万円の図書カード)を贈呈
- 道府県読書推進運動協議会に「読書週間」行事補助金、各2万円を贈呈
- 「秋の読書推進月間」運営委員会に参加

- ポスター配布先**
- 道府県読書推進運動協議会、公共図書館 1万200枚
 - 全国小・中・高校 3万2000枚
 - 取次各社 5730枚
 - 特定の機関 4000枚
 - 読書推進運動協議会事務局(会員社を含む) 3570枚

道府県の各読書推進運動協議会が実施した行事

公益社団法人読書推進運動協議会の呼びかけによって、全国各地で多彩な行事が実施された。その行事報告は機関紙『読書推進運動』2024年4月刊・第677号別冊付録に収録

●道府県別各読書推進運動協議会報告の行事主催者数(読書推進運動協議会編)

北海道	174	青森県	23	岩手県	51	宮城県	42	秋田県	53
山形県	29	福島県	48	茨城県	49	栃木県	47	群馬県	18
埼玉県	70	千葉県	63	新潟県	43	富山県	35	石川県	36
福井県	31	山梨県	43	長野県	41	岐阜県	53	静岡県	94
滋賀県	35	京都府	52	兵庫県	66	和歌山県	27	鳥取県	29
島根県	34	岡山県	63	広島県	88	徳島県	22	香川県	28
愛媛県	37	高知県	24	福岡県	111	佐賀県	33	長崎県	49
熊本県	28	大分県	30	宮崎県	42	鹿児島県	105	沖縄県	34
								合計	1980

●第 56 回 全国優良読書グループ表彰団体

グループ名	所在地	代表者名
ブックスタートをサポートする会	北海道岩内郡岩内町	藤平真樹子
奥中山こひつじ文庫	岩手県二戸郡一戸町	菅生明美
カンガルー読書会	宮城県多賀城市	阿部千佳子
ブックスカフェ	秋田県鹿角郡小坂町	一條志津子
絵本読み隊	山形県東置賜郡川西町	片倉逸子
桑折町読み聞かせ団体 「ファミリー文庫」ら・みるく	福島県伊達郡桑折町	林王直美
守谷の図書館を考える会	茨城県守谷市	森本菊代
朗読ボランティア「ひばりの会」	栃木県真岡市	津田和夫
太田市立藪塚本町図書館「ぼこ・あ・ぼこ」	群馬県太田市	秋本厚子
白樺読書会	埼玉県秩父市	稲垣和子
平家物語音読会	千葉県夷隅郡御宿町	岩崎千恵
読み聞かせの会 ぽけっと	新潟県新潟市	西脇弥生
文学に親しむ会	富山県富山市	油谷智子
野露読書会	石川県野々市市	藤井真人
おはなしの会 ムーミン	山梨県南アルプス市	平間恵美子
松本地域子ども文庫・おはなしの会連絡会	長野県松本市	山本美栄子
オレンジママ	岐阜県加茂郡坂祝町	佐藤佳世
すまいるハート	静岡県静岡市	中嶋孝子
守山市読書連絡協議会	滋賀県守山市	浅田紀代子
絵本サークルきいろいばけつ	京都府船井郡京丹波町	藤本英子
洲本図書館おはなし会ボランティア	兵庫県洲本市	樋口真理子
朗読クラブひかり	和歌山県伊都郡九度山町	下西恭子
岩美みんなを語る会	鳥取県岩美郡岩美町	片村俊子
ひだまり	島根県松江市	永島睦子
おっはなし会	岡山県津山市	矢野しをり
朗読ボランティアしゃぼん玉	徳島県美馬市	松原逸子
読書ボランティア シュークリーム	香川県東かがわ市	川根志保子
三島読書グループ連絡協議会	愛媛県四国中央市	森川啓子
おはなしの泌泉	福岡県田川郡糸田町	水井キミ
りんりんおはなし会	佐賀県鹿島市	高尾美紀
おはなしもこもこ	長崎県五島市	市川和枝
くれよんくらぶ	熊本県菊池市	岡本由紀
杵築市立図書館 古典文学講座	大分県杵築市	栗屋文世
え本よみ隊	宮崎県東臼杵郡諸塚村	甲斐真希
枕崎市読み聞かせボランティアグループ連絡会	鹿児島県枕崎市	久木田弘子
伊平屋小学校メルヘン隊	沖縄県島尻郡伊平屋村	屋良篤

第53回 野間読書推進賞

●受賞者

《団体の部》 ○南種子町おはなし子ども会(鹿児島県)

《個人の部》 ○原田紗千子さん(長野県)

《奨励賞》 ○やくも朗読サークル(北海道)

○鹿児島巖さん(秋田県)

●賞 賞状および賞牌

●副賞 金30万円(団体の部)、金20万円(個人の部)、金5万円(奨励賞)

決定までの経過と贈呈式

- 2023年5月15日 都道府県教育委員会委員長および教育長、都道府県中央図書館および読書推進運動協議会のほか、全国市町村教育委員会連合会、日本PTA 全国協議会、日本新聞協会、NHK、日本民間放送連盟などに候補者推薦を依頼
- 7月31日 候補者推薦締切(推薦数 20団体、3個人)
- 8月28日 野間読書推進賞事業委員会による選考準備委員会を開催。各候補者への評価、その理由などについて討議し、11団体3個人を選出。これについてさらに実情調査などの結果をまとめ、選考委員会に提出
- 9月15日 選考委員会を開催。慎重な審査の結果、1団体1個人の野間読書推進賞、1団体1個人の野間読書推進賞奨励賞を決定。
- 11月2日 東京・千代田区の出版クラブビルにおいて贈呈式および祝賀会を開催。

- 選考委員 秋本 敏 公益社団法人 日本図書館協会 図書紹介事業委員会 委員長
黒木 義博 公益社団法人 全国学校図書館協議会 読書活動プロジェクト担当
野上 暁 児童文学・文化研究家
一般社団法人 日本国際児童図書評議会 副会長

野間読書推進賞について

この賞は、地域や職域などにおいて、永年にわたって読書の普及に力を尽くし、読書推進運動に貢献された団体または個人を顕彰するためのもので、1969年に、講談社社長・故野間省一氏より当協議会の社団法人設立を機に基本財産として金1000万円、1979年に講談社より創業70周年を記念して金1000万円、さらに1987年、2022年に各金2000万円の寄付を受け、その基金を中心に運営しているものです。なお、1985年(第15回)より「読書推進賞」から「野間読書推進賞」と名称が改められました。

2023年度 全国読書グループ調査

○5年に一度実施する調査で今回で11回目。初回は1971年度。前回は2018年度に調査実施、2020年7月に報告書『2018年度 全国読書グループ総覧』を発行した。

- ・2022年10月6日 全国公共図書館協議会（事務局＝東京都立中央図書館内）を訪問し、2023年度調査への協力を依頼
- ・2023年5月11日 全国公共図書館協議会へ文書にて正式に協力依頼、7月6日の同会総会にて調査協力が承認される
- ・7月31日 各道府県読書推進運動協議会および都道府県立図書館へ調査票データの送付方式（紙・データ）の希望を調査。
- ・9月25日 全国公共図書館協議会の協力依頼文書とともに、各道府県読書推進運動協議会および都道府県立図書館へ調査要領・調査票を送付、市町村への配布を依頼する。
- ・12月4日 調査回答締切日。以降、集計作業を進め、2024年度に報告書『2023年度 全国読書グループ総覧』発行し、公共図書館、関係団体、図書館学・司書課程を有する大学へ送付予定。

○2024年4月現在、1959の図書館・類縁機関（公民館図書室など）より回答をいただいている。

○調査対象とする読書グループは、「読書会」「研究会」「実演グループ」「文庫」「読書支援」「環境整備」「連絡会」「友の会」の8種。図書館および類縁機関が把握しているかぎりでの調査を依頼。

○今回は2020年以降、コロナの影響を受けた期間が対象となるため、調査項目に「新型コロナウイルス感染症の影響による活動休止期間」を設けた。

機関紙の発行

- 機関紙『読書推進運動』(B5判)を月1回、年12回発行(第665号～第676号)
- 基本編成は8ページ(第673号は16ページ)
- 別冊付録を年2回(第665号・68ページ、第671号・56ページ)発行し、「読書週間」「こどもの読書週間」の全国からの行事報告を掲載

以下、各号の執筆者(①巻頭、②本文)と内容を紹介

- 第665号=①汐崎順子さん 「つくる」・「読む」・「つなぐ」を一つところにおいて考える
—より豊かな「つなぐ」のために
(「こどもの読書週間」によせて)

☆〈別冊付録〉「2022・第76回 読書週間行事報告」

- 第666号=①代田知子さん 子どもは、人と関わりながら本が好きになっていく
—コロナで気づいたあたり前のこと—
(図書館の現場から)

- 第667号=①長谷川静子さん 地域と本をつなぐ、書店の「お楽しみ」
(街の書店の読書推進)

- ②大羽未准さん 子どもと図書館、地域、学校を結ぶ、
矢祭町「子ども司書講座」の14年
(福島県矢祭町の取り組み)

- 第668号=公益社団法人 読書推進運動協議会・2023年度定時総会報告

- 第669号=①村中李衣さん 煩わしき人間関係万歳～『奉還町ラブソディ』によせて
(「敬老の日読書のすすめ」によせて)

- 第670号=①中部嘉人理事 読書の楽しみで生きる活力を
(「読書週間」によせて)

- 第671号=①梨屋アリエさん 手話でおしゃべりする読書会
(「読書週間」によせて)

☆〈別冊付録〉「2023・第65回 こどもの読書週間行事報告」

- 第672号=①竹村和子監事 子どもたちの「読書の質」を高める学校図書館を目指して
(「若い人に贈る読書のすすめ」によせて)

- ②成田美紀さん 専門性の向上と連携を目指して～学校図書館の充実のために～
(福島県高等学校司書研修会の活動)

- 第673号=第53回 野間読書推進賞特集

- 第674号=①野間省伸会長 自由な読書体験をすべての人に
(年頭所感)

- 第675号=①芦澤泰偉さん 本は日本文化をかたどった「もの」であり、
そこには言霊が宿っている。

(装幀の魅力・本のすがた)

- 第676号=①宇野和美さん 喜ばれても、拒絶されても、本を手渡すことから
('こどもの読書週間'によせて)

子どもの読書推進会議

(事務局)

代表・野間省伸。公益社団法人 読書推進運動協議会、一般社団法人 日本書籍出版協会、一般社団法人 日本雑誌協会、日本児童図書出版協会、一般社団法人 日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会、一般財団法人 出版文化産業振興財団(JPIC)、公益社団法人 日本図書館協会、公益社団法人 全国学校図書館協議会、一般社団法人 日本国際児童図書評議会(JBBY)、一般社団法人 日本児童文学者協会、一般社団法人 日本児童文芸家協会、一般社団法人 日本児童出版美術家連盟の基本13団体から運営委員を募り総会を構成。事務局を読書推進運動協議会におく。主な事業は以下のとおり。

〈主催〉

- 「上野の森 親子ブックフェスタ2023」

5月4日～5日に上野恩賜公園(東京都台東区)で開催した。謝恩価格で児童書を販売する「子どもブックフェスティバル」には64の出展者が約3万7000冊の本を出品。レジではキャッシュレス決済のみとするなど感染症対策を徹底した。著者サイン会、おはなし会など関連イベントも多く2日間で約26000人の来場者があった。はじめての2日間開催であったが、来場者、売上とも2022年を上回った。

〈後援〉

- 「絵本ワールドinひょうご」 9月30日・10月1日 西宮市民会館(兵庫県西宮市)
- 「絵本ワールドin京葉」
10月14日・15日 城西国際大学紀尾井町キャンパス(東京都千代田区)
11月11日・12日 同・東金キャンパス(千葉県東金市)
- 「絵本ワールドinふくしま」 2024年2月10日 須賀川市民交流センターtette
(福島県須賀川市)

受託事業、共催、後援および協賛事業

〈受託事業〉

本年度も、公益財団法人 伊藤忠記念財団の実施する2023年度「子ども文庫助成事業」の募集および第一次審査業務を受託しました。全国の関係機関に募集要項の配布を依頼、寄せられた申請書類を調査・整理のうえ、参考意見を付して財団へ提出。応募総数は157件、伊藤忠記念財団は最終審査の結果、77団体に助成金、31団体に100冊の本が贈呈されました。

〈共催団体、実行委員会への参加〉

- 「第56回 造本装幀コンクール」 主催：一般社団法人 日本書籍出版協会、一般社団法人 日本印刷産業連合会
審査委員として参加。読書推進運動協議会賞提供
- 「第28回 日本絵本賞」 主催：公益社団法人 全国学校図書館協議会
最終選考会に参加
- 「学校図書館整備推進会議」……運営委員会に参加
代表・設楽敬一、議長・竹下晴信。公益社団法人 読書推進運動協議会、公益社団法人 全国学校図書館協議会、日本児童図書出版協会、市民団体など28団体
- 文部科学省より委嘱を受け「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」事業審査
- 文部科学省より委嘱を受け「子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人） 文部科学大臣表彰」事前審査
- 文部科学省より委嘱を受け「読書活動推進事業」審査
- 文部科学省より「子ども読書の日」ポスター制作を受託
- 「第27回 図書館を使った調べる学習コンクール」 主催：公益財団法人 図書館振興財団
審査委員として参加

〈後援など〉

- 「2023年度 アジアの図書館サポーター」 主催：公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会
2023年1月1日～12月31日
- 「2023年度 絵本を届ける運動」 主催：公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会
2023年1月1日～12月31日
- 「春の読者還元祭2023」 主催：日本書店商業組合連合会 4月20日～5月5日
- 「第56回 造本装幀コンクール」 主催：一般社団法人 日本書籍出版協会、一般社団法人 日本印刷産業連合会 応募締め切り4月30日

- 「上野の森 親子ブックフェスタ2023」 主催：上野の森 親子ブックフェスタ運営委員会（日本児童図書出版協会・一般財団法人 出版文化産業振興財団・子どもの読書推進会議）
開催日5月4日～5日
- 「第15回 矢祭もったいない図書館 手づくり絵本コンクール」 主催：矢祭町
募集期間7月1日～9月20日
- 「第33回 全国読書作文コンクール」 主催：公益社団法人 全国学習塾協会
募集期間7月1日～10月31日
- 「第23回 家の光読書エッセイ」 主催：一般社団法人 家の光協会
募集期間7月1日～11月10日
- 「マンガ感想文コンクール2023」 主催：一般社団法人 出版文化産業振興財団
実施期間7月1日～9月15日
- 「第20回 家の光読書ボランティア養成講座」 主催：一般社団法人 家の光協会
実施時期7月3日～7月18日
- 「第17回 家の光読書ボランティアスキルアップ講座」 主催：一般社団法人 家の光協会
実施時期7月10日～7月24日
- 「2023年 本と遊ぼうこどもワールド」 主催：日本出版販売株式会社
開催時期：7月15日～17日（仙台） 10月4日～9日（広島）
- 「第10回 東京・学校図書館スタンプラリー」
主催：東京・学校図書館スタンプラリー実行委員会
開催期間：7月15日～8月31日
- 「第55回 日本子どもの本研究会全国大会」 主催：一般社団法人 日本子どもの本研究会
開催日7月29日・30日
- 「第27回 図書館を使った調べる学習コンクール」 主催：公益財団法人 図書館振興財団
募集期間9月11日～10月2日
- 「第1回 文庫で絵本ミーティング」 主催：絵本図書館ネットワーク
開催日：9月16日
- 「親地連第24回全国交流集会」 主催：親子読書地域文庫全国連絡会
開催日10月7日
- 「読書週間×本の日 秋の読者還元祭2023」 主催：日本書店商業組合連合会
応募期間10月27日～11月23日
- 「ブックインとっとり2023」 主催：ブックインとっとり実行委員会
開催期間11月1日～11月8日
- 「第5回 子どもの読書活動推進に関する代表者シンポジウム」 主催：絵本図書館ネットワーク
開催日：12月16日
(その他、絵本図書館ネットワークの3事業を後援)

2023年度 決算報告書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,213,946	7,294,065	△ 4,080,119
未収金	1,028,512	32,552	995,960
前払金	322,289	338,769	△ 16,480
貯蔵品	150,000	130,000	20,000
流動資産合計	4,714,747	7,795,386	△ 3,080,639
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
野間読書推進賞基金	25,000,000	30,000,000	△ 5,000,000
グループ総覧発行積立金	4,000,000	3,000,000	1,000,000
特定資産合計	29,000,000	33,000,000	△ 4,000,000
(2) その他固定資産			
敷金	2,305,600	2,305,600	0
その他固定資産合計	2,305,600	2,305,600	0
固定資産合計	31,305,600	35,305,600	△ 4,000,000
資産合計	36,020,347	43,100,986	△ 7,080,639
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,151,748	2,790,029	△ 638,281
預り金	141,564	0	141,564
賞与引当金	693,333	691,333	2,000
流動負債合計	2,986,645	3,481,362	△ 494,717
2. 固定負債			
退職給付引当金	15,130,000	14,192,000	938,000
固定負債合計	15,130,000	14,192,000	938,000
負債合計	18,116,645	17,673,362	443,283
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	17,000,000	20,000,000	△ 3,000,000
指定正味財産合計	17,000,000	20,000,000	△ 3,000,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(17,000,000)	(20,000,000)	(△ 3,000,000)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	903,702	5,427,624	△ 4,523,922
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(12,000,000)	(13,000,000)	(△ 1,000,000)
正味財産合計	17,903,702	25,427,624	△ 7,523,922
負債及び正味財産合計	36,020,347	43,100,986	△ 7,080,639

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,160	8,617	△ 7,457
特定資産受取利息	220	8,617	△ 8,397
特定資産受取利息振替額	940	0	940
会費収入	27,629,000	27,733,000	△ 104,000
一般会員会費収入	4,034,000	4,138,000	△ 104,000
特別会員会費収入	23,595,000	23,595,000	0
受託事業収入	1,292,460	1,245,270	47,190
子どもの読書推進会議受託事業収入	700,000	700,000	0
伊藤忠記念財団受託事業収入	592,460	545,270	47,190
受取寄付金	4,296,500	1,866,500	2,430,000
受取寄付金	1,296,500	1,866,500	△ 570,000
受取寄付金振替額	3,000,000	0	3,000,000
雑収益	1,192,463	1,193,109	△ 646
受取利息	84	198	△ 114
雑収益	1,192,379	1,192,911	△ 532
経常収益計	34,411,583	32,046,496	2,365,087
(2) 経常費用			
事業費	35,434,747	34,484,749	949,998
給料手当	9,594,630	9,534,960	59,670
法定福利費	1,902,061	1,863,663	38,398
賞与	1,180,367	1,176,967	3,400
賞与引当金繰入	589,333	587,633	1,700
退職給付費用	797,300	792,200	5,100
福利厚生費	55,624	50,601	5,023
事務所費	4,921,672	4,933,206	△ 11,534
印刷費	6,265,666	5,787,931	477,735
通信運搬費	3,305,036	3,105,219	199,817
旅費交通費	335,967	214,382	121,585
会議費	128,711	139,645	△ 10,934
広告宣伝費	671,000	877,250	△ 206,250
褒賞費	2,295,075	2,027,833	267,242
支払補助金	1,480,000	1,480,000	0
贈呈図書費	0	68,000	△ 68,000
支払原稿料	585,019	615,019	△ 30,000
諸謝金	80,000	80,000	0
支払手数料	31,695	26,975	4,720
消耗品費	171,132	170,316	816
リース料	254,760	254,760	0
サーバー使用料	234,696	232,141	2,555
新聞購読料	130,030	128,896	1,134
書籍購入費	0	7,590	△ 7,590
講演・研修会参加費	6,200	10,600	△ 4,400
雑費	418,773	318,962	99,811

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	3,500,758	3,476,789	23,969
給料手当	1,693,170	1,682,640	10,530
法定福利費	335,658	328,882	6,776
賞与	208,300	207,700	600
賞与引当金繰入	104,000	103,700	300
退職給付費用	140,700	139,800	900
福利厚生費	9,816	8,929	887
支払手数料	965	965	0
事務所費	868,529	870,566	△ 2,037
会議費	138,820	132,307	6,513
租税公課	800	1,300	△ 500
経常費用計	38,935,505	37,961,538	973,967
当期経常増減額	△ 4,523,922	△ 5,915,042	1,391,120
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,523,922	△ 5,915,042	1,391,120
一般正味財産期首残高	5,427,624	11,342,666	△ 5,915,042
一般正味財産期末残高	903,702	5,427,624	△ 4,523,922
II 指定正味財産増減の部			
特定資産運用益	940	0	940
受取寄付金	0	20,000,000	△ 20,000,000
一般正味財産への振替額	△ 3,000,940	0	△ 3,000,940
当期指定正味財産増減額	△ 3,000,000	20,000,000	△ 23,000,000
指定正味財産期首残高	20,000,000	0	20,000,000
指定正味財産期末残高	17,000,000	20,000,000	△ 3,000,000
III 正味財産期末残高	17,903,702	25,427,624	△ 7,523,922

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引消去	合 計
	公1事業	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	1,128	1,128	32		1,160
特定資産受取利息	188	188	32		220
特定資産受取利息振替額	940	940	0		940
会費収入	23,484,650	23,484,650	4,144,350		27,629,000
一般会員会費収入	3,428,900	3,428,900	605,100		4,034,000
特別会員会費収入	20,055,750	20,055,750	3,539,250		23,595,000
受託事業収入	1,292,460	1,292,460	0		1,292,460
子どもの読書推進会議受託事業収入	700,000	700,000	0		700,000
伊藤忠記念財団受託事業収入	592,460	592,460	0		592,460
受取寄付金	4,296,500	4,296,500	0		4,296,500
受取寄付金	1,296,500	1,296,500	0		1,296,500
受取寄付金振替額	3,000,000	3,000,000	0		3,000,000
雑収益	1,192,446	1,192,446	17		1,192,463
受取利息	67	67	17		84
雑収益	1,192,379	1,192,379	0		1,192,379
経常収益計	30,267,184	30,267,184	4,144,399		34,411,583
(2) 経常費用					
事業費	35,434,747	35,434,747			35,434,747
給料手当	9,594,630	9,594,630			9,594,630
法定福利費	1,902,061	1,902,061			1,902,061
賞与	1,180,367	1,180,367			1,180,367
賞与引当金繰入	589,333	589,333			589,333
退職給付費用	797,300	797,300			797,300
福利厚生費	55,624	55,624			55,624
事務所費	4,921,672	4,921,672			4,921,672
印刷費	6,265,666	6,265,666			6,265,666
通信運搬費	3,305,036	3,305,036			3,305,036
旅費交通費	335,967	335,967			335,967
会議費	128,711	128,711			128,711
広告宣伝費	671,000	671,000			671,000
褒賞費	2,295,075	2,295,075			2,295,075
支払補助金	1,480,000	1,480,000			1,480,000
支払原稿料	585,019	585,019			585,019
諸謝金	80,000	80,000			80,000
支払手数料	31,695	31,695			31,695
消耗品費	171,132	171,132			171,132
リース料	254,760	254,760			254,760
サーバー使用料	234,696	234,696			234,696
新聞購読料	130,030	130,030			130,030
講演・研修会参加費	6,200	6,200			6,200
雑費	418,773	418,773			418,773

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引消去	合 計
	公1事業	小計			
管理費			3,500,758		3,500,758
給料手当			1,693,170		1,693,170
法定福利費			335,658		335,658
賞与			208,300		208,300
賞与引当金繰入			104,000		104,000
退職給付費用			140,700		140,700
福利厚生費			9,816		9,816
支払手数料			965		965
事務所費			868,529		868,529
会議費			138,820		138,820
租税公課			800		800
経常費用計	35,434,747	35,434,747	3,500,758		38,935,505
当期経常増減額	△ 5,167,563	△ 5,167,563	643,641		△ 4,523,922
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 5,167,563	△ 5,167,563	643,641		△ 4,523,922
一般正味財産期首残高					5,427,624
一般正味財産期末残高					903,702
II 指定正味財産増減の部					
特定資産運用益	940	940			940
一般正味財産への振替額	△ 3,000,940	△ 3,000,940			△ 3,000,940
当期指定正味財産増減額	△ 3,000,000	△ 3,000,000	0		△ 3,000,000
指定正味財産期首残高					20,000,000
指定正味財産期末残高					17,000,000
III 正味財産期末残高					17,903,702

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 「公益法人会計基準」を採用している。
- (2) 引当金の計上基準
- ア 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末において発生していると認められる額を計上している。
 - イ 賞与引当金 前期の支給実績に基づき、当期の負担相当額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
野間読書推進賞基金	30,000,000	0	5,000,000	25,000,000
グループ総覧発行積立金	3,000,000	1,000,000	0	4,000,000
合 計	33,000,000	1,000,000	5,000,000	29,000,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
野間読書推進賞基金	25,000,000	(17,000,000)	(8,000,000)	—
グループ総覧発行積立金	4,000,000	(0)	(4,000,000)	—
合 計	29,000,000	(17,000,000)	(12,000,000)	0

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
特定資産受取利息振替額	940
受取寄付金振替額	3,000,000
合 計	3,000,940

5. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	△ 15,130,000
----------	--------------

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	△ 938,000
--------	-----------

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、期末退職金要支給額を基礎として計算している。

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表の注記「2. 特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	691,333	693,333	691,333	0	693,333
退職給付引当金	14,192,000	938,000	0	0	15,130,000

財 産 目 録

2024年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		物量・場所等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	現金（手元保管） 普通預金 文化産業信用組合 本店 三井住友銀行 飯田橋支店 みずほ銀行 神田支店 三菱UFJ銀行 神楽坂支店 きらぼし銀行 神田中央支店 郵便振替口座 ゆうちょ銀行	運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として	91,500 443,717 967,309 85,819 397,888 244,157 903,577 79,979
	未収金	文部科学省 公益財団法人伊藤忠記念財団	子どもの読書活動普及啓発ポスター 送料	999,000 29,512
	前払金	一般財団法人日本出版クラブ その他	賃料・共益費 4月分 購読料	301,169 21,120
	貯蔵品		図書カード	150,000
流動資産合計				4,714,747
(固定資産)				
特定資産	野間読書推進賞基金	定期預金 きらぼし銀行 神田中央支店 文化産業信用組合 本店 三菱UFJ銀行 神楽坂支店	80%は公益目的保有財産として公益目的事業の財源とし、20%は管理運営の財源としている。 野間読書推進賞の財源として積み立てている。 野間読書推進賞の財源として積み立てている。	8,000,000 10,000,000 7,000,000
	グループ総覧発行積立金	定期預金 三井住友銀行 飯田橋支店	グループ総覧発行のために積み立てている。 (特定費用準備資金)	4,000,000
その他固定資産	敷金	事務所入居保証金	共用財産であり、うち80%は公益目的保有財産として公益目的事業の用に供し、20%は管理運営の用に供している。	2,305,600
固定資産合計				31,305,600
資産合計				36,020,347
(流動負債)				
	未払金 預り金 賞与引当金	職員に対するもの	ポスター代金、発送費、イラスト料ほか 社会保険料 職員に対する賞与の支払いに備えたもの	2,151,748 141,564 693,333
流動負債合計				2,986,645
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	15,130,000
固定負債合計				15,130,000
負債合計				18,116,645
正味財産				17,903,702

監 査 報 告 書

公益社団法人 読書推進運動協議会
会 長 野 間 省 伸 殿

2024年4月17日

監 事 佐藤 潤一



監 事 竹村 和子



監 事 春井 宏



私たち監事は、公益社団法人 読書推進運動協議会の2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の監査を実施いたしました、その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会等の会議に出席、又は、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1)事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

2023年度 予算決算対比

(単位：円)

科 目	2023年度予算				2023年度決算			
	公益目的事業会計		法人会計	合計	公益目的事業会計		法人会計	合計
	公1	合計			公1	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
特定資産運用益	1,000	1,000	300	1,300	1,128	1,128	32	1,160
特定資産受取利息	1,000	1,000	300	1,300	188	188	32	220
特定資産受取利息振替額	0	0	0	0	940	940	0	940
会費収入	23,552,650	23,552,650	4,156,350	27,709,000	23,484,650	23,484,650	4,144,350	27,629,000
正会員（一般会員）受取会費	3,496,900	3,496,900	617,100	4,114,000	3,428,900	3,428,900	605,100	4,034,000
正会員（特別会員）受取会費	20,055,750	20,055,750	3,539,250	23,595,000	20,055,750	20,055,750	3,539,250	23,595,000
受託事業収入	1,275,000	1,275,000	0	1,275,000	1,292,460	1,292,460	0	1,292,460
子どもの読書推進会議受託事業収入	700,000	700,000	0	700,000	700,000	700,000	0	700,000
伊藤忠記念財団受託事業収入	575,000	575,000	0	575,000	592,460	592,460	0	592,460
受取寄付金	21,500,000	21,500,000	0	21,500,000	4,296,500	4,296,500	0	4,296,500
受取寄付金	21,500,000	21,500,000	0	21,500,000	1,296,500	1,296,500	0	1,296,500
受取寄付金振替額	0	0	0	0	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000
雑収益	1,140,150	1,140,150	50	1,140,200	1,192,446	1,192,446	17	1,192,463
受取利息	150	150	50	200	67	67	17	84
雑収益	1,140,000	1,140,000	0	1,140,000	1,192,379	1,192,379	0	1,192,379
経常収益計	47,468,800	47,468,800	4,156,700	51,625,500	30,267,184	30,267,184	4,144,399	34,411,583
(2) 経常費用								
事業費	37,718,833	37,718,833		37,718,833	35,434,747	35,434,747		35,434,747
給料手当	9,560,000	9,560,000		9,560,000	9,594,630	9,594,630		9,594,630
法定福利費	1,876,000	1,876,000		1,876,000	1,902,061	1,902,061		1,902,061
賞与	1,768,000	1,768,000		1,768,000	1,180,367	1,180,367		1,180,367
賞与引当金繰入	587,633	587,633		587,633	589,333	589,333		589,333
退職給付費用	792,200	792,200		792,200	797,300	797,300		797,300
福利厚生費	0	0		0	55,624	55,624		55,624
事務所費	4,800,000	4,800,000		4,800,000	4,921,672	4,921,672		4,921,672
印刷費	6,600,000	6,600,000		6,600,000	6,265,666	6,265,666		6,265,666
通信運搬費	3,250,000	3,250,000		3,250,000	3,305,036	3,305,036		3,305,036
旅費交通費	300,000	300,000		300,000	335,967	335,967		335,967
会議費	500,000	500,000		500,000	128,711	128,711		128,711
広告宣伝費	450,000	450,000		450,000	671,000	671,000		671,000
褒賞費	3,300,000	3,300,000		3,300,000	2,295,075	2,295,075		2,295,075
支払補助金	1,480,000	1,480,000		1,480,000	1,480,000	1,480,000		1,480,000
贈呈図書費	100,000	100,000		100,000	0	0		0
支払原稿料	980,000	980,000		980,000	585,019	585,019		585,019
諸謝金	120,000	120,000		120,000	80,000	80,000		80,000
支払手数料	25,000	25,000		25,000	31,695	31,695		31,695
消耗品費	220,000	220,000		220,000	171,132	171,132		171,132
リース料	260,000	260,000		260,000	254,760	254,760		254,760
サーバー使用料	250,000	250,000		250,000	234,696	234,696		234,696
新聞購読料	130,000	130,000		130,000	130,030	130,030		130,030
書籍購入費	20,000	20,000		20,000	0	0		0
講演・研修会参加費	20,000	20,000		20,000	6,200	6,200		6,200
雑費	330,000	330,000		330,000	418,773	418,773		418,773
管理費			4,246,500	4,246,500			3,500,758	3,500,758
給料手当			1,700,000	1,700,000			1,693,170	1,693,170
法定福利費			331,000	331,000			335,658	335,658
賞与			312,000	312,000			208,300	208,300
賞与引当金繰入			103,700	103,700			104,000	104,000
退職給付費用			139,800	139,800			140,700	140,700
福利厚生費			200,000	200,000			9,816	9,816
支払手数料			10,000	10,000			965	965
事務所費			850,000	850,000			868,529	868,529
会議費			200,000	200,000			138,820	138,820
租税公課			0	0			800	800
関連法人会費			250,000	250,000			0	0
雑費			150,000	150,000			0	0
経常費用計	37,718,833	37,718,833	4,246,500	41,965,333	35,434,747	35,434,747	3,500,758	38,935,505
当期経常増減額	9,749,967	9,749,967	△ 89,800	9,660,167	△ 5,167,563	△ 5,167,563	643,641	△ 4,523,922
当期一般正味財産増減額	9,749,967	9,749,967	△ 89,800	9,660,167	△ 5,167,563	△ 5,167,563	643,641	△ 4,523,922

2024年度 事業計画書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

読書推進運動協議会は、おかげさまで本年度創立 65 年を数えます。歴史の蓄積の上に立ちながら、読書の未来を見据えてこれからも活動を継続してまいります。

全国の読書推進活動は、コロナ禍以前の勢いを取り戻すことができました。春の「こどもの読書週間」、秋の「読書週間」における行事主催者数も以前のレベルに回復しており、読書会、読み聞かせ会、ワークショップなどバラエティあふれる活動が各地で活発に行われています。本を介して人と人が直接対面し価値観を共有するという、読書推進運動の基本が戻ってきたことに希望を感じます。

「こどもの読書週間」「読書週間」の標語は、会員社のみなさま、全国の図書館、そしてホームページで一般の方々にも呼びかけて募集しています。とくに販売会社や出版社には事業委員として深く関わっていただき、それぞれの社員の方々からたくさんの応募をいただいています。2024 年春の「こどもの読書週間」の標語は「ひらいてワクワク めくってドキドキ」に、秋の「読書週間」の標語は「この一行(いちぎょう)に逢いにきた」に決定しました。ここ数年は、図書館だけでなく、行政や教育現場のかたがたからポスター画像の使用について、問い合わせが増えてきました。標語やポスターにかかわる作業を進めるなかで、事業の認知度をより高めていくようにいたします。

「読書週間」は、ポスターのイラストも一般から公募しており、2016 年からは標語にあわせたイラストを公募し、標語と親和性の高い力作が多く寄せられています。また「こどもの読書週間」のポスターにつきましては、昨年度より子どもたちに人気のある新進の絵本作家ユニット、ザ・キャビンカンパニーさんを起用し好評を得ました。本年も同じく標語にあわせた描き下ろしイラストで制作いたします。

私ども読進協の事業の基盤は、永年にわたって構築してまいりました、読書推進活動に携わる現場のみなさまとの強固な絆です。読書週間事業の一環として行われている、全国の読書推進運動協議会の推薦をもとに選ばれる「全国優良読書グループ表彰」と、永年にわたって読書の普及に貢献された団体と個人を表彰する「野間読書推進賞」の顕彰事業は、関係団体や各道府県の読書推進運動協議会との緊密な協力関係のもとに推進しています。

全国の読書推進運動協議会から寄せられた推薦図書をもとに作成する、約 20 万部の「若い人に贈る読書のすすめ」と、約 14 万部の「敬老の日読書のすすめ」のリーフレットは、今年度も関係の団体を通じてお配りしていきます。学校や図書館からの問い合わせが多いのは、積極的に活用されている表れと思います。

2023 年度は、5 年に一度おこなっている「全国読書グループ調査」を実施いたしました。本年度中に、調査をまとめた『2023 年度 全国読書グループ総覧』の刊行を予定しています。本総覧は全国の読書グループの実態を記録した、類例のない資料としての評価を頂戴し、公共図書館および類縁機関、会員社、関係者、司書課程を有する大学などに配布して、ご活用いただい

おります。今回は新型コロナウイルス感染症の影響についても調査項目に加えております。

機関紙『読書推進運動』は、これまでと同様に事業の紹介、関係団体・機関のニュースを中心に紙面づくりを心掛けます。「優良読書グループのあゆみ」やこれまでの野間読書推進賞受賞者の活動など、読書推進運動の現場を積極的に紹介してまいります。

ホームページでの「読書週間」「こどもの読書週間」のしおり、ポップなどの素材データの配信も好評をいただいております。さらに魅力ある素材の提供に取り組んでいきます。

なお、年々ポスター、リーフレットの需要が高まる一方、昨今の物価高騰により、印刷費や郵送料など事業に要する経費も上昇してきております。読書推進事業の継続性を維持するために、デリバリー方法の見直しなども含め、経費の効率的な運用を心掛けてまいります。

現在 40 道府県にそれぞれの読書推進運動協議会があり、読書推進運動協議会のさまざまな事業を行っていくにあたり、連携を強め、多大な協力をいただいています。しかし、読書推進運動協議会のない都府県が、7つあります。こうした都府県にあらためて働きかけ、事業の活性化をはかっていきます。

最後に、2024年1月に発生した能登半島地震についてです。巨大な災害は地域と生活を一変させました。読書環境についても大きな影響が出ています。読書推進運動協議会は、上述の機関紙やホームページを通して関連団体の支援の動きなどをお伝えしていくとともに、長年培ってきた優良読書グループ、野間読書推進賞受賞者等とのネットワークを生かして情報の収集、提供に努め、もって地域の読書活動の振興に貢献してまいります。被災地の早期の復興を祈念してやみません。

2024年度 事業計画

名 称	期 間	内 容
2024 第78回 読書週間	10月27日 ～ 11月9日 (14日間)	<p><u>キャンペーン事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書推進運動協議会がすすめる14日間にわたる読書普及のための最大のイベント ・標語とイラストを募集、標語選定事業委員会とイラスト選定事業委員会で決定、ポスター約6万枚を製作 ・雑誌広告を作成。雑誌協会を通じ、雑誌出版社に掲載協力を要請 ・道府県読進協、公共図書館、小・中・高の学校図書館、書店、会員社、マスコミなどへポスターを送付。掲出を要請 ・「文字・活字文化の日(10月27日)」「秋の読書推進月間」との連携 ・全国優良読書グループ表彰の実施 ・道府県読進協へ行事補助金贈呈。行事報告を要請し、機関紙別冊に掲載
2024 第66回 こどもの読書週間	4月23日 ～ 5月12日 (20日間)	<p><u>キャンペーン事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春の読書週間」としての位置づけ、20日間を強調 ・標語を募集、標語選定事業委員会にて決定し、ポスター約6万枚を製作。道府県読進協、公共図書館、小・中・高の学校図書館、書店、会員社、マスコミなどへポスターを送付。掲出を要請 ・「子ども読書の日(4月23日)」「上野の森親子ブックフェスタ」と連携 ・道府県読進協へ行事補助金贈呈。行事報告を要請し、機関紙別冊に掲載
第54回 野間読書推進賞	贈呈式は 11月7日	<p><u>顕彰事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書推進運動に功績があった団体および個人を顕彰(2団体2個人が基本) ・贈呈式は「読書週間」期間中に開催

2024 敬老の日 読書のすすめ	敬老の日 を中心に	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を対象とした選定図書目録のリーフレット約14万部を製作 ・道府県読進協、公共図書館、書店、会員社などへ送付
2025 若い人に贈る 読書のすすめ	1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・新成人、高校・大学の卒業生を対象とした選定図書リーフレットを約21万部を製作 ・道府県読進協、公共図書館、高校や大学の学校図書館、書店、会員社などへ送付
『2023年度全国読書 グループ総覧』	年度内刊行	<ul style="list-style-type: none"> ・5年に一度、全国の公共図書館および類縁機関を対象に行う読書グループの活動状況の調査を2023年度に実施 ・全国公共図書館協議会の協力のもと、都道府県立図書館・道府県読書推進運動協議会を通じて調査票を配布 ・回答を集計し、その結果を『2023年度全国読書グループ総覧』として2024年度に刊行。全国の公共図書館および類縁機関、会員、関係者などに配布する。
機関紙 『読書推進運動』	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙『読書推進運動』を毎月発行するほか、別冊付録を年2回発行 ・発行部数 約5500部 ・会員社、公共図書館、関係団体などに送付
公式ホームページ	毎月2回 更新	<ul style="list-style-type: none"> ・団体事業の発信 ・機関紙バックナンバーの掲載 ・図書館、学校、書店の展示用に、各種事業のポップ・しおりなど、新規素材のデータ配信を行う
受託、共催、後援、協賛		<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの読書推進会議」の事務局を担当 ・「伊藤忠記念財団」の子ども文庫助成事業の受託 ・文部科学省より「子ども読書の日」のポスター制作を受託 ・関連団体と読書推進事業を後援、協賛、協力

2024年度 収支予算書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

(単位：円)

科 目	2023年度予算書			2024年度予算書		
	公益目的事業会計	法人会計	合計	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
特定資産運用益	1,000	300	1,300	300	100	400
特定資産受取利息	1,000	300	1,300	300	100	400
会費収入	23,552,650	4,156,350	27,709,000	23,514,400	4,149,600	27,664,000
正会員（一般会員）受取会費	3,496,900	617,100	4,114,000	3,462,900	611,100	4,074,000
正会員（特別会員）受取会費	20,055,750	3,539,250	23,595,000	20,051,500	3,538,500	23,590,000
受託事業収入	1,275,000	0	1,275,000	1,290,000	0	1,290,000
子どもの読書推進会議受託事業収入	700,000	0	700,000	700,000	0	700,000
伊藤忠財団文庫助成収入	575,000	0	575,000	590,000	0	590,000
受取寄附金	21,500,000	0	21,500,000	1,300,000	0	1,300,000
読書週間協力費	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000
会員社	20,500,000	0	20,500,000	300,000	0	300,000
雑収益	1,140,150	50	1,140,200	1,200,100	20	1,200,120
受取利息	150	50	200	100	20	120
雑収益	1,140,000	0	1,140,000	1,200,000	0	1,200,000
経常収益計	47,468,800	4,156,700	51,625,500	27,304,800	4,149,720	31,454,520
(2) 経常費用						
事業費	37,718,833		37,718,833	41,489,733		41,489,733
給料手当	9,560,000		9,560,000	9,630,000		9,630,000
法定福利費	1,876,000		1,876,000	1,900,000		1,900,000
賞与	1,768,000		1,768,000	1,773,100		1,773,100
賞与引当金繰入	587,633		587,633	589,333		589,333
退職給付費用	792,200		792,200	797,300		797,300
事務所費	4,800,000		4,800,000	5,210,000		5,210,000
印刷費	6,600,000		6,600,000	10,000,000		10,000,000
通信運搬費	3,250,000		3,250,000	3,200,000		3,200,000
旅費交通費	300,000		300,000	350,000		350,000
会議費	500,000		500,000	150,000		150,000
広告宣伝費	450,000		450,000	770,000		770,000
褒賞費	3,300,000		3,300,000	3,300,000		3,300,000
支払補助金	1,480,000		1,480,000	1,480,000		1,480,000
贈呈図書費	100,000		100,000	100,000		100,000
支払原稿料	980,000		980,000	800,000		800,000
諸謝金	120,000		120,000	120,000		120,000
支払手数料	25,000		25,000	30,000		30,000
消耗品費	220,000		220,000	200,000		200,000
リース料	260,000		260,000	290,000		290,000
サーバー使用料	250,000		250,000	240,000		240,000
新聞購読料	130,000		130,000	130,000		130,000
書籍購入費	20,000		20,000	10,000		10,000
講演・研修会参加費	20,000		20,000	20,000		20,000
雑費	330,000		330,000	400,000		400,000
管理費		4,246,500	4,246,500		4,402,600	4,402,600
給料手当		1,700,000	1,700,000		1,700,000	1,700,000
法定福利費		331,000	331,000		335,000	335,000
賞与		312,000	312,000		312,900	312,900
賞与引当金繰入		103,700	103,700		104,000	104,000
退職給付費用		139,800	139,800		140,700	140,700
福利厚生費		200,000	200,000		200,000	200,000
事務所費		850,000	850,000		1,000,000	1,000,000
支払手数料		10,000	10,000		10,000	10,000
会議費		200,000	200,000		200,000	200,000
関連法人会費		250,000	250,000		250,000	250,000
雑費		150,000	150,000		150,000	150,000
経常費用計	37,718,833	4,246,500	41,965,333	41,489,733	4,402,600	45,892,333
評価損益等調整前当期経常増減額	9,749,967	△ 89,800	9,660,167	△ 14,184,933	△ 252,880	△ 14,437,813
当期経常増減額	9,749,967	△ 89,800	9,660,167	△ 14,184,933	△ 252,880	△ 14,437,813
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	9,749,967	△ 89,800	9,660,167	△ 14,184,933	△ 252,880	△ 14,437,813

公益社団法人 読書推進運動協議会 会員名簿

2024年6月1日現在 (273)

◆特別会員 (99)

一般社団法人 日本書籍出版協会
 同 日本雑誌協会
 同 教科書協会
 同 日本出版取次協会
 公益社団法人 日本図書館協会
 同 全国学校図書館協議会
 日本書店商業組合連合会

 一般財団法人 日本出版クラブ
 一般社団法人 家の光協会
 王子製紙 株式会社
 学校法人 文化学園文化出版局
 株式会社 秋田書店
 同 朝倉書店
 同 朝日広告社
 同 朝日新聞社
 同 岩崎書店
 同 岩波書店
 同 潮出版社
 同 ADK マーケティング・ソリューションズ
 同 NHK出版
 同 オーム社
 同 オリコム
 同 学研ホールディングス
 同 KADOKAWA
 同 河出書房新社
 同 きらばし銀行神田中央支店
 同 暮らしの手帖社
 同 KPS ホールディングス
 同 広済堂ネクスト
 同 俊成出版社
 同 講談社
 同 交通新聞社
 同 光文社
 同 小峰書店
 同 ゴルフダイジェスト社
 同 産業経済新聞社
 同 JTBパブリッシング
 同 集英社
 同 主婦と生活社
 同 主婦の友社
 同 小学館
 同 祥伝社
 同 少年画報社
 同 新潮社
 同 青春出版社
 同 誠文堂新光社
 同 世界文化ホールディングス

株式会社 大修館書店
 同 ダイヤモンド社
 同 中央経済社ホールディングス
 同 中央公論新社
 同 中央社
 同 中日新聞社
 同 電通
 同 トーハン
 同 東京ニュース通信社
 同 東洋経済新報社
 同 徳間書店
 同 日教販
 同 日経BP
 同 日本実業出版社
 同 博報堂
 同 PHP研究所
 同 福音館書店
 同 双葉社
 同 文英堂
 同 文藝春秋
 同 ベースボール・マガジン社
 同 ベネッセホールディングス
 同 芳文社
 同 ポプラ社
 同 ほるぷ出版
 同 毎日新聞社
 同 マガジンハウス
 同 有斐閣
 同 読売新聞社
 同 理論社
 共同印刷 株式会社
 共立出版 株式会社
 協和出版販売 株式会社
 国際紙パルプ商事 株式会社
 新生紙パルプ商事 株式会社
 全日本製本工業組合連合会
 大王製紙 株式会社
 大日本印刷 株式会社
 図書印刷 株式会社
 凸版印刷 株式会社
 日本紙パルプ商事 株式会社
 日本出版販売 株式会社
 日本製紙 株式会社
 日本図書普及 株式会社
 ぴあ 株式会社
 ひかりのくに 株式会社
 文化産業信用組合
 北越コーポレーション 株式会社
 三菱王子製紙販売 株式会社
 楽天ブックスネットワーク株式会社

有限会社 明日香出版社
 悠々会

◆一般会員 (174)

愛知県書店商業組合
 青森県書店商業組合
 医歯薬出版 株式会社
 一般社団法人 農山漁村文化協会
 茨城県書店商業組合
 大口製本印刷 株式会社
 大村製本 株式会社
 岡山県書店商業組合
 沖縄県書店商業組合
 海文堂出版 株式会社
 香川県書店商業組合
 学事出版 株式会社
 学校図書 株式会社
 株式会社 あかね書房
 同 あすなろ書房
 同 医学書院
 同 池田書店
 同 栄行社
 同 大月書店
 同 オレンジページ
 同 音楽之友社
 同 化学同人
 同 学陽書房
 同 風間書房
 同 かんき出版
 同 北大路書房
 同 京都新聞社
 同 銀行研修社
 同 金星堂
 同 近代セールス社
 同 金の星社
 同 金羊社
 同 くもん出版
 同 経済界
 同 勁草書房
 同 研究社
 同 恒星社厚生閣
 同 講談社エディトリアル
 同 講談社ビーシー
 同 弘文社
 同 弘文堂
 同 国土社
 同 国宝社
 同 こぐま社
 同 コロナ社
 同 財界研究所

株式会社 さ・え・ら書房
 同 三修社
 同 三省堂
 同 サンマーク出版
 同 実務教育出版
 同 清水書院
 同 春陽堂書店
 同 裳華房
 同 彰国社
 同 晶文社
 同 昭文社
 同 照林社
 同 新興出版社啓林館
 同 新星出版社
 同 新日本出版社
 同 人文書院
 同 星雲社
 同 成文堂
 同 世界思想社教学社
 同 そうえん社
 同 創元社
 同 増進堂・受験研究社
 同 第一学習社
 同 第一通信社
 同 第三文明社
 同 高橋書店（出版）
 同 竹尾
 同 淡交社
 同 筑摩書房
 同 地人書館
 同 チャイルド本社
 同 中国新聞社東京支社
 同 汐文社
 同 電気書院
 同 東京創元社
 同 東京即売
 同 とうこう・あい
 同 童心社
 同 東洋館出版社
 同 読書人
 同 永井書店
 同 永岡書店
 同 ナツメ社
 同 南江堂
 同 南山堂
 同 新潟日報社
 同 二玄社
 同 西村書店（出版）
 同 西村書店（取次）
 同 二宮書店
 同 日本経済新聞社
 同 日本スポーツ企画出版社
 同 日本能率協会マネジメント
 センター
 同 日本文芸社

株式会社 白水社
 同 博文館新社
 同 博友社
 同 原書房
 同 評論社
 同 フォーネット社
 同 婦人之友社
 同 扶桑社
 同 フレーベル館
 同 プレジデント社
 同 文溪堂
 同 文真堂
 同 文理
 同 平凡社
 同 報知新聞社
 同 法律文化社
 同 みすず書房
 同 三井住友銀行神田支店
 同 緑書房
 同 ミネルヴァ書房
 同 モーターマガジン社
 同 山川出版社
 同 養賢堂
 同 養徳社
 同 吉川弘文館
 同 リイド社
 同 ロングセラーズ
 同 若林製本工場
 岐阜県書店商業組合
 教育出版 株式会社
 京都府書店商業組合
 京橋紙業 株式会社
 熊本県書店商業組合
 黒柳製本 株式会社
 慶應義塾大学出版会 株式会社
 産業図書 株式会社
 滋賀県書店商業組合
 静岡県書店商業組合
 実教出版 株式会社
 昇龍堂出版 株式会社
 書店新風会
 数研出版 株式会社
 鈴木出版 株式会社
 聖パウロ女子修道会
 成美堂出版 株式会社
 第一出版 株式会社
 大日本図書 株式会社
 辰巳出版 株式会社
 玉川大学 出版部
 中央精版印刷 株式会社
 東京書籍 株式会社
 東京都書店商業組合
 同文館出版 株式会社
 徳島県書店商業組合
 鳥取県書店商業組合

永井製本 株式会社
 中庄 株式会社
 日本紙通商 株式会社
 日本事務器 株式会社
 B L 出版 株式会社
 美術書出版株式会社 芸艸堂
 兵庫県書店商業組合
 福島県書店商業組合
 二葉製本 株式会社
 北越紙販売 株式会社
 北海道書店商業組合
 牧製本印刷 株式会社
 光村教育図書 株式会社
 光村図書出版 株式会社
 宮城県書店商業組合
 有限会社 至光社
 同 富山房
 同 ベレ出版
 同 丸善マツチ
 （以上）

